

家庭菜園で慣れ親しんだいちごを栽培（吉田町）

R5.11.20訪問



お名前	中村 敦さん（44歳）
就農した時期	2023年3月（就農1年目）
栽培品目	いちご（きらぴか）
栽培面積	15a
販路	JAへ全量出荷
働き手	本人



■ 就農したきっかけ

以前は電気工事関連の会社に勤務していましたが、元々農業に興味があり、自宅で家庭菜園も行っていました。約3年前に自宅のある吉田町で役場やJAに就農相談を行い、家族の理解も得られたことから、就農を決意しました。品目については、家庭菜園で慣れ親しんでいたこともあり、いちごを選択しました。地元のJAハイナンから紹介された研修先で約2年間研修し、2023年3月に就農しました。

■ 活用した支援策等

国の「経営発展支援事業」や県の「施設園芸大国しずおか構造改革緊急対策事業」、日本政策金融公庫の「青年等就農資金」を活用しました。

■ 工夫したこと

前職（電気工事関係）の経験を活かし、現場での作業を自力で行う等、少しでも経費を浮かすよう努力しています。栽培に関しては、JAや農林事務所の勉強会に参加したり、研修先の農家に相談したりすることで、情報収集をしています。

■ 今後取り組みたいこと

まずは、収穫量を安定させることを重視しています。収穫量が安定してきたら、少しずつ面積を増やしていき、いちごを使用した加工品も作っていきたいと考えています。